

## 平成30年1月 岩手県教育委員会定例会 会議録

- 1 開催日時  
開会 平成30年1月15日(月)午後1時30分  
閉会 平成30年1月15日(月)午後1時55分
- 2 開催場所  
県庁10階 教育委員室
- 3 教育長及び出席委員  
高橋嘉行 教育長  
八重樫 勝 委員  
小平忠孝 委員  
芳沢 莖子 委員  
畠山将樹 委員  
新妻二男 委員
- 4 説明等のため出席した職員  
今野教育次長兼教育企画室長、岩井教育次長  
鈴木企画課長、佐々木特命参事兼予算財務課長、佐々木学校施設課長、永井教職員課総括課長、荒川小中学校人事課長、梅津県立学校人事課長、小久保学校調整課総括課長、鈴木産業・復興教育課長、藤澤高校改革課長、菊池生徒指導課長、中島学校教育課総括課長、佐野義務教育課長、佐藤高校教育課長、佐々木特別支援教育課長、荒木田保健体育課総括課長、佐藤生涯学習文化財課総括課長、鎌田文化財課長  
教育企画室：長澤主任主査、金野主査(記録)
- 5 会議の概要  
  - 第1 会期決定の件  
本日一日と決定

(事務報告)

  - 第2 事務報告1 平成30年度県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜検査の実施について(学校教育課)  
別添事務報告により報告

八重樫委員：念のためお聞きしますが、検査問題は、小学6年生にとって適切な水準でしたでしょうか。また、問題に誤りはなかったでしょうか。

佐野義務教育課長：現在採点途中ですが、途中経過から見て、例年よりややよい結果になるのではないかと状況であり、適切な水準であったと思います。また、作文については、できる子とできない子とで差が出たように感じます。なお、検査問題の誤りはございませんでした。

八重樫委員：小学校の授業で対応できる検査問題となっていましたでしょうか。

佐野義務教育課長：小学校の学習指導要領に示されている各教科の基礎・基本を踏まえた出題ですので、基本的には、授業の中で力をつければ対応できる適性検査となっています。

新妻委員：集団面接は、男女混合で行われたのでしょうか。

佐野義務教育課長：男女別でございます。男子は5人、女子は5人で実施したものです。

新妻委員：面接のグループ数はどうだったのでしょうか。

佐野義務教育課長：5グループが2部屋、6グループが4部屋ございました。

新妻委員：中学校・高校の先生も同席したのですか。

佐野義務教育課長：はい。

(議案)

第3 議案第34号 岩手県教育振興基本対策審議会への諮問の臨時専決処理に関し承認を求めることについて(教育企画室)  
別添議案により説明

教育長：現在、次期県総合計画策定に向け総合計画審議会等の場で様々議論が進んできている中で、教育における課題も議論に出てきています。これに対し、教育委員会としても、考え方の叩き台を示していきたいと考えています。それをさらに具現化するものが、この教育振興計画(仮称)になります。県総合計画の教育分野と、この教育振興計画(仮称)をもって、教育基本法に定める本県の教育振興基本計画として位置付けたいと思っています。人口減少等、社会情勢が変化する中で、課題も浮き彫りにしつつ、子供たちが、例えば将来の仕事が変わっても新たな挑戦をする等、課題への対策を講じていきたいと考えています。

八重樫委員：審議会への諮問についての異論はありません。計画策定にあたっては、どういう教育を目指すのか、どういう人間を育てるのかを常に念頭に置いて、今後の具体的な施策を立てて行ってほしいと思います。それから、資料の議34-4ページ、岩手県教育振興計画(仮称)の策定趣旨・性格の欄1行目に、「教育行政の目標」とありますが、一方で、事務局から何度か「教育振興の目標」との説明がありました。使い分けしているのか、そうだとすれば意味合いがどう違うのでしょうか。

鈴木企画課長：これは教育委員会という行政機関の計画になりますので、こういった表現にしたものです。その上で、この計画は教育全般にどのように取り組んでいくかといった内容になるのかと思います。そういう意味で、特に使い分けをしているものではございません。

教育長：教育委員会だけの計画ですと、教育の推進力が不足すると思います。学校教育はもとより、県民の皆様の理解と協働で成り立っている社会教育、そういったことも含めて全体的な教育になりますので、只今の御意見も踏まえて、この点の見直しをさせて頂ければと思います。

原案どおり決定

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。